

施策・主な取組シート

基本方向	(6) 構想の実現に向けて	基本政策	5) ICT活用の推進
(1) 施策			
名称	4 8 ICT活用の推進		
目標	ICTを利活用することで、市民ニーズに対応した行政サービスを、いつでも、どこでも、だれでも享受できる環境づくりに努めるとともに、迅速かつ正確で、効率的な行政運営の実現を図ることで、より便利で住みやすいまちづくりをめざします。		
現状と課題	ICT利活用及び地域情報化推進のため、「木更津市第2次地域情報化推進プラン」及び「木更津市地域ICT推進プラン」に基づく各取組について、積極的な情報収集や検討、具体的な行動が必要となります。 行政が担う業務が増加、複雑化する一方で、職員の増員も困難な状況になっており、事務事業の見直しを行う中で、ICTの活用及びタブレット端末の導入等により、市民サービスの向上及び業務の効率化を図ることが必要となります。 各課に設置されている各種システムの改修が、法令等の改正に伴い必要となることから、改修の確実な実施とあわせて市民ニーズの変化への対応も必要となります。 行政の透明性・信頼性の向上や地域の経済活性化、市民の利便性等の向上のため、市が保有する様々なデータをいつでも、だれでも利用することができる状態で公開する必要があります。		
課題解決の方向性	「木更津市第2次地域情報化推進プラン」及び「木更津市地域ICT推進プラン」に基づく各課の取組について、進行管理を実施していくとともに、常に変化していく環境に沿った次期地域情報化計画の策定について検討します。 市民サービスの向上や業務の効率化を図るため、ICTの活用について検討するとともに、タブレット端末の導入及び活用等については、平成30年度より導入した貸出機の配置により、各課の業務における利用の有効性を検証します。 オープンデータについては、情報に対するニーズを踏まえ、利用者にとって利便性の高い状態で公開できるよう調査・検討を行います。		
(2) 主な取組			
No.1	名称	地域情報化の推進	
	担当課	情報政策課	
	概要	・「木更津市第2次地域情報化推進プラン」及び「木更津市地域ICT推進プラン」に基づき、市民の利便性の向上と効率的な行政運営の実現に取り組むとともに、関係各課と連携して地域の情報化を推進します。 ・平成32年度からの次期地域情報化計画については、IoT、ビッグデータ、AIなど、日々進展するICTや、国や県、他の行政機関の動向を踏まえた計画の策定をめざします。 ・行政の透明性・信頼性の向上や地域の経済活性化、市民の利便性の向上を図るため、本市が保有する様々な分野のデータを、いつでもだれでも、2次利用可能な形式で公開するオープンデータを推進します。	
No.2	名称	電子市役所の推進	
	担当課	総務課・行政改革推進室	
	概要	・行政サービスの強化及び事務の効率化を図るため、タブレット端末等を活用し、窓口等における市民サービスの拡充及び庁内業務のペーパーレス化等を継続的に推進します。 ・クラウド化や仮想化等の技術を活用し、災害時等における業務継続性の確保、事務の効率化及び経費の節減を見据えたシステムの更新を検討・実施します。 ・「業務プロセス改善事業」の取組により、事務事業の見直しを行う中で、ICTの活用によって業務の効率化が図れる事業について検討を図ります。 ・住民異動等に伴う業務手順に沿った手続支援システムについて情報収集を行い、導入に向けた検討を図ります。	

施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	公開オープンデータ数	3 (平成30年7月現在)	11個	2次利用可能なオープンデータを増加させることで、行政の透明性や市民の利便性向上を図れるため。 目標値として、1年度につき少なくとも2個のオープンデータを公開することを目標とし、11個とした。(4年間×2=8+3=11個)
	I C Tの新規導入により業務の効率化が図れた事務事業の件数	0件 (平成30年7月)	3件	I C T等の活用が進むことで、業務の効率化につながると考えられるため。 目標値として、現在ICT導入の効果が特に高いと考えられる事業を洗い出したところ、3件となったもの。